

神奈川大学体育会剣道部創立八〇周年

記念手拭『剛氣果敢』(ごうきかかん) 註解

神奈川大学は、一九二八年に横浜学院として創立され、大戦後の一九四九年に新制大学となり、今日まで時代の要請と社会の期待に忘れて八五年の歴史を重ねてきました。建学に当たって創立者米田吉盛先生は、「質実剛健」と「積極進取」、そして「中正堅実」を基本精神として明示しています。伝統と良識を尊重し、勇気をもって万事に挑戦し、そして新しい価値の創造に貢献することを謳ったものです。

神奈川大学体育会剣道部は、同学間もない一九三三年に創立され、爾来久しく学問に精励し剣道に精進する有為な人材を輩出してきました。剣友会の先輩諸賢が各界において指導的役割を果たされ、社会の繁栄と人々の幸福に貢献されている事実を誇りに思います。わが剣道部は、本学の建学の精神を最もよく体現し、部の伝統と文化を尊重するとともに、文武二道の人生を自覚的に構築することに限りない価値を置いています。

剣道部創立八〇周年の祝賀記念に当たり、面部署装の手拭をこれまでの菊池傳元師範名の『至剛無懼』(しごうむく)の伝統を継承しつつ、『剛氣果敢』(ごうきかかん)の新名辞を掲げ、新たに作製することとしました。「剛氣」とは、強くて勇ましい気性のことであり、それは強靱で屈しない堅固な意気を意味します。また、「果敢」とは、決断が早く機を見て俊敏に動くことであり、それは大胆に物事に取組む態度を意味します。

『剛氣果敢』の「剛氣」で「剣道・稽古に取組む基本姿勢(静態)」を表し、「果敢」で「対戦・攻防に臨む基本態度(動態)」を示しています。すなわち、『剛氣果敢』の訓解は、燃えるような激しい気迫と揺るぎない意気を日常の稽古によって鍛え、いかなる実践の局面にあつてもその氣(気位)を堅持し、対戦での攻防においては勝機を窺って勇断をもって機動的・積極的に攻めて打ち勝つということを求めています。

正に『剛氣果敢』は、その精神において建学の「質実剛健」・「積極進取」の精神を剣道を通じて極めることを願ったものであり、同時に、その目標において菊池傳元師範の「至剛無懼」の教示を継承するものと考えます。わが剣道部はこれまで輝かしい戦績と栄光の歴史を築いてきましたが、新時代を切拓くわが剣道部とその部員一人ひとりに今求められている基本姿勢と対戦態度のあり方は、新『剛氣果敢』に込められています。

神奈川大学体育会剣道部は、わが国武道の精神と伝統を尊重し、剣道の礼法と規範を遵守します。同時に、これまでの部活動の多大な成果を蒸留し、歴史の頁を歳久しく重ねていく決意を新たにしています。そして、正当で強靱で謙虚な「美しい剣道」を目指します。手拭記載『剛氣果敢』の訓意が浸透し、結実することを願っています。

二〇一三年一〇月十二日

剣道部部长 照 屋 行 雄